

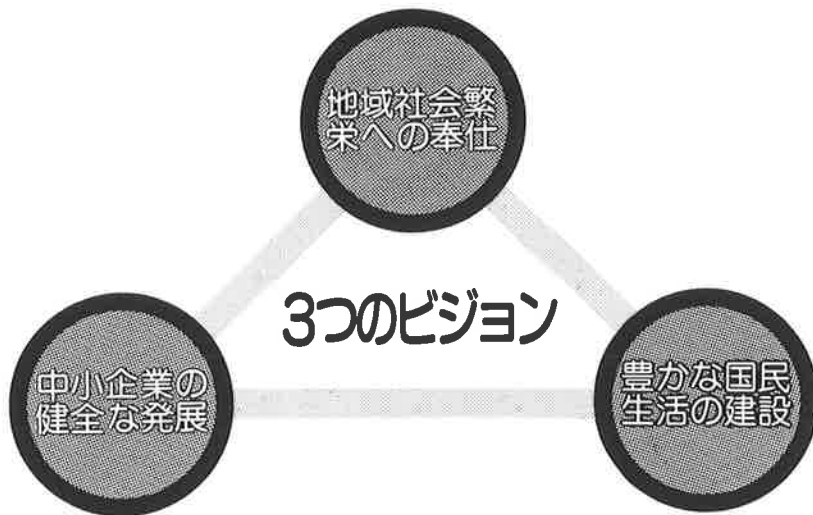
ともしえ No.56



■函館商工会議所報■

1985 8月号

親しめる
頼れるみんなの
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

 **はこしん**
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	尻岸内支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

●とせえ・56号目次●

巻頭言	1
会議所だより	2
調査レポート	6
アドバイスコナー	12
ご存知ですか	14
寄稿文	16
事務局日誌	17
新入会員ご紹介	18
ティータム	20
告知板	22

一号議員選挙告示

函館商工会議所一号議員の選挙を左記のとおり執行します。

記

- 一、選挙する議員の定数 五十人
- 一、立候補及び推せん届出期間 昭和六十年九月二日(火)から同月十三日(金)まで
- 一、選挙人名簿確定日 昭和六十年九月十六日(月)まで
- 一、選挙人名簿縦覧及び異議申し立て期間 昭和六十年九月十五日(日)から同月二十一日(土)まで
- 一、立候補辞退届出期限 昭和六十年九月十七日(火)
- 一、投票の日時 昭和六十年九月二十五日(水) 午前九時から午後五時まで
- 一、開票の日時 昭和六十年九月二十五日(水) 午後六時
- 一、投票場及び開票場 函館商工会議所(拓銀ビル六階)
- なお、選挙人名簿確定日(九月十六日)までに所定の年額会費及び負担金を納入しない方は、選挙権及び被選挙権がありませんのでご注意ください。

昭和六十年九月二日

函館商工会議所

選挙長 中島

茂

●巻頭言●

本年は明治後期の文壇に清新の光を放ち、情熱の天才詩人として今もなお広く親しまれている石川啄木生誕百年の記念すべき年であります。

函館の港まつり期間の八月二日から「生誕百年記念石川啄木展」が開催され、肉筆の日記、原稿、書簡を中心に貴重な資料約三百点が公開されておりました。

盛岡―函館―札幌―小樽―釧路―東京と啄木の生涯を追う構成で展開されており、真の啄木文学に対する親近感と理解を深める絶好の機会でありました。

明治四十年五月五日、啄木二十二歳の春に、住みなれた岩手県渋谷村の代用教員をやめて、故郷喪失の悲しみを抱きながら、生活の糧を求めて詩歌の友人を頼りに新開地函館の青柳町に落ち着きました。

啄木日記によりますと、五月三十一日商業会議所(現商工会議所)を退職したとありますが、二十日位臨時雇として勤め、日給六十銭であったとの記録があります。

函館公園の広場脇には「函館の青柳町こそ悲しけれ友の恋歌矢車の花」の歌碑があり、大森浜の銅像には「潮かをる北の浜辺の砂山のかのハマナスよ今年も咲けるや」が刻まれ、情熱の詩人として二十七歳で夭折した啄木が自分の墓所を函館に定め、立待岬の墓碑には名歌「東海の小島の磯の白砂にわれ泣きぬれて蟹とたわむる」も刻まれております。

N T Tはテレホンサービス「石川啄木の一握の砂」を詩う」を発表しモニタージュボイスを流しておりました。

函館は啄木にとつてよき友があり、心の安らぐ素晴らしい土地であったでしょう。今も素晴らしい函館です。

POSシステムを推進

「共通商品コード」登録受付業務開始

商工会議所では、流通近代化事業の一環として、中小小売店などのPOS（販売時点情報管理）化と共通商品コード（JANコード）の普及を推進するため、(財)流通システム開発センターの委託を受け、本年八月十日から「商品メーカーコード」の登録受付業務を開始しました。

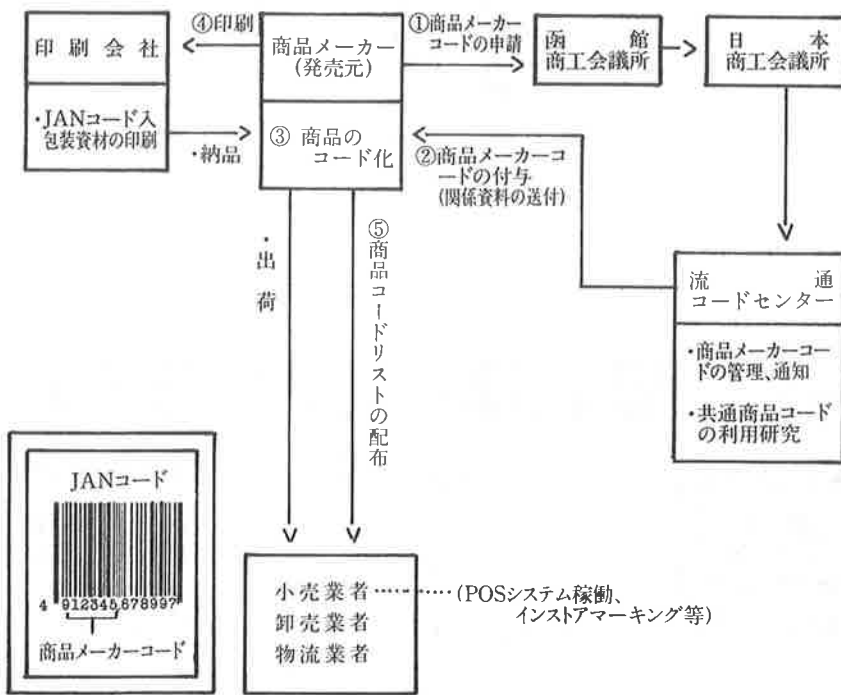
近年、消費者のニーズは個性化、多様化して、その変化も激しく、商品のライフ・サイクルも著しく短縮されてきました。企業にとっては、こうした消費者動向を的確にとらえ、それにすばやく対処していくことが不可欠の経営戦略となっています。また、この消費者動向をいち早くとらえることができる立場にあるのが小売業であり、今後の流通業の経営戦略を決定する要といえることができます。POSシステムは、従来のレジスターに代り、売り上げデータをコンピュータで処理することができるもので、金銭管理、商品管理

はもとより、店頭において商品のキメ細かな売上情報をじん速かつ正確に把握することができ、それによって消費者動向を検討分析できれば、小売業をはじめ、商品メーカー、卸売業にとっても、次のアクションを容易におこなうことができるようになります。

さて、このPOSシステムが稼動するためには、あらかじめ一つ一つの商品に商品情報を記号化したコードをつけておかなければなりません。食品、雑貨などセルフサービス方式で販売される商品について、わが国ではJANコードとしてJIS規格が制定されており、流通コードセンターから「商品メーカーコード」を取得後、個々の商品コードを設定し、製造段階で各商品にプリントする必要があります。(ソースマーケティング、下図参照)

つまり、小売業のPOSシステムは、商品メーカー、卸売業等のソー

共通商品コード(商品メーカーコード)登録とソースマーケティングの流れ



スマーキングの普及いかんにかかっていられるわけだ。

現在、百貨店、大手スーパーのPOS化の進展に呼応して、食品、雑貨のナショナルメーカーでは八割程度が商品メーカーコード登録を終えてお

りませんが、今後は、中小小売店においても同システムの普及は必至とみられ、地元商品メーカー、卸売業者等の積極的対応が望まれています。詳細は本所振興課までお問い合わせ下さい。

一万人踊りパレードに全市民酔う

本所職員ら50人も参加

開港127年記念
函館港まつり

開港百二十七年を記念する函館港まつりが、八月一日から一週間にわたって、にぎやかに繰りひろげられました。

一日雨で順延になった全国花火大会は、二日に行なわれ、千二百発が夜空に次々に打ち上げられ、お祭り気分が一挙に盛り上がりました。また、港まつりのフィナーレを飾



そろいの浴衣姿で踊る本所チーム

る一万人踊りパレードは、天候の都合で七日、最終日に順延されました。

パレードは午後五時、末広町銀座

道立工業技術センター 整備協議会設立

会長に村瀬本所副会頭選出

函館圏域企業の技術向上と受注拡大を図るため、北海道立工業技術センターの運営及び環境整備等に民間サイドから協力することを目的にした道立工業技術センター建設整備協議会が、去る七月八日設立されました。

道立工業技術センターは「テクノポリス函館」開発計画における主要

事業の一つであり、地域企業の広範なニーズに対応し、これら企業と密接な連携を図り、高度な研究開発を推進するとともに、地域に根ざした課題に取り組む中核試験研究機関で

通りをスタートし、駅前、祇園通りまで「函館港おどり」「いいんでないかい」の曲にのって、踊り歩きました。

ことしは、史上最高の七十九団体、九千六百十人が参加し、本所からは、職員、婦人会など総勢五十人が、そろいの浴衣姿で参加、沿道の見物客から声援をうけていました。

すが、道が十八億円をかけて、いよいよ今秋に着工し六十一年度には供用が開始されることになりました。

このセンターは効率的かつ、地域企業との一体的な運営が望ましく、そのためには地域関連産業界の全面的な協力体制が是非とも必要であるとの考えから、本所が世話をし設立されたものです。

当日の設立総会の席上、村瀬順二郎本所副会頭が函館機械金属造船工業協同組合連合会の会長という立場から会長に選出され、今後活発な事業を推進することを申し合せました。

●行楽のお帰りに **ご家族連れで、どうぞ!**

お座敷コーナー

ゆっくりと、おくつろぎください

新設

各種ご宴会も承り中!
60名様迄、ご予算に応じて承ります。

どの味も好評です!

●和食●洋食●お寿司●喫茶

ファミリー
レストラン

駐車場

姉妹店
レストラン

駐車場

宮前町31-2 (ホテルブリッチ内)
☎ 43-9159

富岡町1丁目20の7
☎ 45-4676

定休日/第1・第3日曜日

本所チーム決勝進出ならず

21回全道会議所野球大会

函館市

第二十一回全道商工会議所野球大会は、七月二十日（土）、二十一日（日）の両日、函館市根崎球場・函館工業高校および自衛隊の三球場で開催されました。

日頃、机に向って仕事をしているため、体位の向上と各地域の経済情報との交換をかねた親睦野球大会には、札幌・室蘭・苫小牧・小樽・旭



開幕を前に勢ぞろいする全道会議所選手たち、手前は本所ナイター根崎球場で

川・北見・釧路・中空知連合および函館の各商工会議所の九チーム選手、応援団合せて二百三十人が参加しました。

「そろばん函館一」に浪岡昭夫さん

函館地区珠算競技大会開く

本所主催による第三十八回函館地区珠算競技大会が、七月二十一日日本所で開催されました。

今回の大会には、選手九十二人が参加し、それぞれ、一般の部・高校の部・中学生の部・小学生の部にわかれて技を競い合いました。

競技種目は、乗算、除算、見取算、見取暗算、伝票算、応用計算、読上暗算、読上算の八種目が行われ、そのうち総合競技の上位入賞者は、今年九月十五日に旭川市で開催される全道珠算競技大会に函館地区代表の選手として出場することにな

二十日（土）は一・二回戦、二十一日（日）は準決勝・決勝が行われ、熱戦のすえ釧路商工会議所チームが十一対七で苫小牧商工会議所チームを破り初優勝しました。

なお、わが函館商工会議所チームは、残念ながら準決勝で苫小牧商工会議所チームに六対四で敗戦しました。

つています。

競技の結果「そろばん函館一」には浪岡昭夫さんが二年連続、「そろばん中学生一」には日沼祐子さんがそれぞれ栄誉に輝きました。

入賞者（一位のみ）は次の通り
 △団体▽○高校の部 遺愛女子高校
 ○中学校の部 戸倉中学校

△個人▽○一般の部 浪岡昭夫（浪岡塾）○高校の部 日沼真佐美（遺愛高校）○中学校の部 日沼祐子（戸倉中）○小学生の部 渡辺英男（柏野小）

以上敬称略

給食用 レストラン用

和食、洋食、中華各料理のメニュー開発・食材の合理化に。

業務用食品、専門商社



大槻食材(株)

業務用食品器具卸センター

函館市東雲町7-11 TEL 26-5131



ロ・サバ旋網の受注が比較的順調なほか、スケトウ刺網の備蓄生産本格化もあって、定時操業を維持。

(その他の製造業)

合板は、本州方面の長梅雨を映じた荷動き停滞から市況が再び弱含んでいるため、小幅減産を継続。セメントは、内需が依然低調ながら対米向け大口輸出がみられたことから、定時操業に復帰。一方生コンは、引き続き荷動き不冴え。

(建設関連)

管内主要官公庁の6月末公共工事発注率は、前年を若干上回る水準まで進捗し、地元建設業者の工事着工も漸く本格化。

(農 業)

水稲、畑作物の生育状況は、6月中の少雨、低温による悪影響が懸念されたが、7月入り後の降雨や気温上昇から目下のところ概ね平年並みまで回復している模様。

(漁 業)

6月解禁の近海マイカ漁は、太平洋、日本海側とも魚群の北上が順調でほぼ例年並みの水揚げとなっている模様。

(小売商況)

6月中の大型小売店(10か店)の売り上げは、日曜日が前年比1日多かったうえ、下旬の天候回復や催事の奏功等もあって、夏物婦人衣料品、雑貨などが好売れ行きを示し、月中では前年比2.6%増となった。7月入り後も、軽衣料、扇風機等季節商品中心に概ね順調な売れ行き

となっている模様。

一方、耐久消費財では、家電販売は扇風機、大型冷蔵庫、CDプレーヤー等が好売れ行きを示している反面、VTR、洗濯機、カラーテレビ等が不冴えな動きを続けるなど品目により区々の展開となっているほか、乗用車販売も引き続き不振で3カ月連続前年実績を下回っている(6月中乗用車新車登録台数前年比△9.8%)。

3. 金融事情(6月中)

○管内金融機関の実質預金は、公務員のボーナス預金が比較的順調に流入したほか、月末休日に伴う法人流動性預金の一時滞留もあって、月中で216億円増と前年(139億円増)を5割方上回る増加となった。

一方貸し出しは、水産加工の原魚買付資金、建設のつなぎ資金等季節需資が幾分盛り上がりを見たとすえ、月末休日に伴う高どまりも加わって、月中では102億円増と前年(60億円増)を上回る増加。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中△0.022%の低下(前月⊕0.016%)。

○銀行券は、月央以降の官庁ボーナス・民間給与払等現金需要が嵩んだため月中では61億円の発行超となったが、発行超幅は国鉄ボーナスの7月への支給後ズレ等を映じて前年(発行超63億円)並みに止まった。

○財政収支は、公共事業関係費や公務員ボーナス等の支払いが嵩み月中10億円の払超となったが、払超幅は3月期決算法人税を中心とする租税の受入増加等から前年(払超38億円)を下回った。 以上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和60年6月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	2,569,866	96.0	103.6
身 回 品	497,340	106.1	104.0
雑 貨	866,493	127.0	112.3
家 庭 用 品	610,178	94.6	91.1
食 料 品	1,582,700	97.6	103.1
食 堂 ・ 喫 茶	179,390	102.7	102.6
サ ー ビ ス	67,916	98.9	113.0
そ の 他	215,141	76.1	85.9
総 額	6,589,024	99.5	102.6

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパースプラザ湯の川店の各店をいう。

6月

昭和60年7月30日発表

金融経済概況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、業種により明暗の差は大きいものの、季節的な盛業期とあって全体としては緩やかな上向き歩調を辿っている。すなわち、電子部品が需給バランスの失調や市況の一段下落から生産抑制姿勢を強めているほか、原魚手当面の制約が続いている珍味加工、飼料・魚油、荷動き低迷の合板等でも小幅減産体制を継続。しかしながら、製缶機械では、ビールメーカー等のおう盛な新容器開発投資意欲を映し受注が好調なため能力一杯の増産体制を続行しているのをはじめ、乳加工品、段ボールでも需要最盛期入りに伴う荷動き活発化から操業度を引き上げているほか、需要堅調な化学肥料も高操業を継続。また造船が新造船の建造本格化からフル操業体制を敷き、更新需要が持ち直し傾向にある合板機械や大ロスポット輸出がみられたセメントでも定時操業にそれぞれ復帰。この間、個人消費面では家電製品、乗用車等耐久消費財の販売は引き続き不冴えながら、大型小売店の売り上げは夏物衣料品、雑貨等を中心に底固い動きを続けている。また一次産業面では、農作物の生育は概ね平年並みまで回復、近海マイカ漁もまず順調な水揚げを示している模様。

金融面では、水産加工の原魚買付資金、建設のつなぎ資金等季節需資が幾分盛り上がりを見たとえ、月末休日に伴う高どまりもあって、6月中貸し出しは前年を上回る増加となった。管内銀行の6月の貸出約定平均金利は再び低下。

2. 主要業種別動向

(造船)

新造船部門では、大型船3隻(26千トン級、B.C船)を同時建造中であるほか、修繕船、陸上部門でも受注が比較的順調

なため、時間外操業の拡大および下請け発注増加等により建造能力一杯のフル操業体制を敷いている。

(電子部品)

OA機器の売れ行き不振や日・米半導体貿易摩擦の激化等を背景に需給バランスの失調および製品市況の下落傾向が強まっているため、時間外操業の原則廃止や一部生産ラインの稼働停止等操業体制見直しを実施しており、生産テンポはさらに鈍化。

(珍味加工)

夏場需要最盛期を迎えて、消費地間屋筋からの注文は徐々に上向きつつあるものの、漁期入りした原魚ムラサキイカがなお採算ラインを上回る高値で推移しているため、小幅減産体制を継続。

(化学)

飼料・魚油では、米国産大豆の豊作予想等を背景に需給緩和基調が改まらず製品市況が低迷しているうえ、7月解禁の道東沖イワン漁も目下のところ低調で原魚手当難が続いているため、減産継続。化学肥料は、農家筋の肥料購売意欲がおう盛なうえ、農薬の大ロスポット受注も舞い込んだため、高操業を続行。

(機械)

製缶機械は、缶詰容器の多様化、ファッション化進展を映じて、需要がおう盛で、受注残高もかなりの高水準にあるため、能力一杯の増産体制を続行。合板機械は、内外合板メーカーによる生き残りのための高性能省エネ機種への更新投資の動きが目立ち始めており、操業度は漸次上昇。

(段ボール)

馬鈴薯等の収穫・出荷最盛期を控えて青果物向けの備蓄生産に拍車をかけているほか、マイカ漁の最盛期入り等から水産物向け荷動きも活発化しているため、操業度は一段と上昇。

(乳加工品)

需給逼迫基調にある主力粉乳の売れ行きが好調なうえ、冷菓、飲料水も夏場需要期入りに伴い漸次荷動きが活発化しているため、フル操業体制を継続。

(漁網)

底曳網、定置網の受注は依然低調ながら、漁期最盛期を迎えたイカ刺網やマグ

次に来期の売り上げ見通しを業種別にみると、

建設業では、今期比D I △29.7、前年同期比D I △51.9といずれもD I が大幅にマイナスしており、工事最盛期入りにもかかわらず依然として厳しい予想となっている。

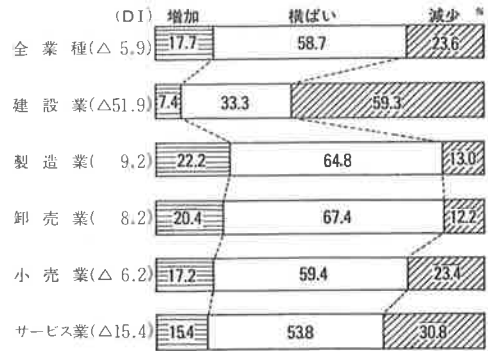
製造業では、今期比D I 10.4、前年同期比D I 9.2といずれもD I がプラスを示し、比較的明るい見通しとなっている。細業種で見ると、漁網業、印刷業が今期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し業績悪化を予想している以外は、好転基調を予想しており、特に水産加工業、飲食料品業が増収を見込んでいる。

卸売業では、今期比D I 20.0、前年同期比D I 8.2といずれもD I がプラスを示しており、比較的明るい見通しとなっている。細業種で見ると、燃料業が今期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し減収を予想している以外は、総体的に業績好転を見込んでおり、特に食料品業、医薬品・化粧品業は今期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し増収を予想している。

小売業では、今期比D I △1.5、前年同期比D I △6.2といずれもD I は若干マイナスを示しているが、ほぼ横ばい状態が予想されている。細業種で見ると、かなりバラツキがみられ、食料品業、自動車販売業では今期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し業績悪化を予想しているが、逆に各種商品販売業はいずれもD I がプラスを示し、増収を見込んでおり、衣服・身の回り品業もやや明るい予想となっている。

サービス業では、今期比D I △22.1、前年同期比D I △15.4といずれもD I がマイナスを示し、業績悪化を予想している。細業種で見ると、娯楽業はやや明るい見通しとなっているが、他の業種は悪化基調を予想しており、特に自動車整備業は今期比、前年同期比ともに大幅にD I がマイナスを示し、観光シーズンを迎えた旅館業も、減収傾向を予想している。

図一六 来期の売り上げ見通し (対前年同期比)



3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とするとみる企業5.4%に対し「悪化」とするとみる企業13.1%でD I △7.7となっているが、「変わらない」とする企業が81.5%もあり、ほぼ今期並みに推移される見通しである。

これを業種別にみると、建設業D I △32.1、製造業D I △3.5、卸売業D I △4.2、小売業D I △3.2、サービス業D I △7.4となっており、建設業が悪化を予想している。



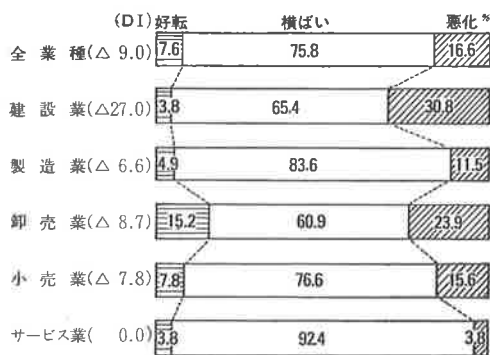
業が、採算面にやや明るさをみせている。

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業7.6%に対し、「悪化」した企業16.6%でD Iが $\Delta 9.0$ を示しており、悪化基調に変わりないが、「変わらない」とする企業が75.8%もあり、ほぼ前期並みに推移した。

業種別にみると、サービス業以外はすべての業種でD Iがマイナスを示しているが、やはりいずれも大半の企業が「変わらない」としている。

図-4 今期の資金繰り (対前期比)



5. 経営上の問題点について

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり「売り上げ・受注の不振」をあげている企業が多く、全業種で45.2%を占めており、前年同期より0.4ポイント増加している。

この「売り上げ・受注の不振」を業種別にみると、建設業67.8%、製造業37.2%、卸売業44.6%、小売業52.4%、サービス業21.7%となっている。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「同業者の競合」10.7%、製造業では「製品安」16.1%、「原材料高」14.5%、「景気の見通し難」12.9%、卸売業では「純利益の減少」14.9%、「景気の見通し難」12.8%、小売業では「客足の減少」18.0%、サービス業では「客足の減少」26.3%、「同業者の競合」13.0%等となっており、サービス業では今期「客足の減少」がトップとなっている。

来期 (7月~9月) の見通し

1. 業況について

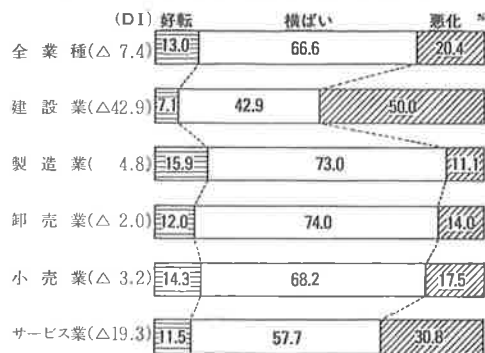
函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」とみる企業18.7%に対し、「横ばい」企業62.6%、「悪化」とみる企業18.7%でD I 0.0、また前年同期比でみると、「好転」企業13.0%に対し、「悪化」企業20.4%でD I $\Delta 7.4$ となっており、ほぼ横ばい状態を予想している。

業種別にみると、今期比では建設業D I $\Delta 32.2$ 、製造業D I 10.8、卸売業D I 12.0、小売業D I 3.0、サービス業D I $\Delta 22.2$ と、建設業とサービス業以外はD Iがプラスを示し好転を見込んでおり、業種によるバラツキをみせている。

また前年同期比では、建設業(D I $\Delta 42.9$)とサービス業(D I $\Delta 19.3$)が悪化を予想しているが、他の業種はほぼ前年並みの予想となっている。

このように来期の業況は、業種によりバラツキがみられるが、全体的には盛業期入りにもかかわらず、今一つ盛り上がりに欠ける予想となっている。

図-5 来期の業況見通し (対前年同期比)



2. 売上額について

来期の売り上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ、「増加」とみる企業24.2%に対し、「横ばい」企業52.0%、「減少」とみる企業23.8%でD I 0.4、また前年同期比では「増加」企業17.7%に対し、「横ばい」企業58.7%、「減少」企業23.6%でD I $\Delta 5.9$ と、ほぼ横ばい状態を予想している。

でD I △16.6を示しており、前年よりも悪化している。

次に売上額を業種別にみると

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比D I △32.1、前年同期比D I △39.3と依然として業績悪化が続いており、細業種でみてもすべてD I がマイナスを示している。

このように建設業界は、設備投資が依然として停滞ぎみで、公共事業の発注額が前年を下回り、さらに発注の遅れ等もあり、厳しい状態が続いている。

【製造業】

今期の生産額は、前期比D I 20.3、前年同期比D I △6.5と、前期比ではD I がプラスを示し、比較的業績が好転している。

細業種でみると、水産加工業は原料の高値も響いて前期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示して業績が悪化しており、漁網業も操業度を引き上げるまでには至っていない。しかし、金属・一般機械器具業は前期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し業績好転をみせており、需要期入りした飲食料品業と、受注が順調な造船業も、前期比ではD I がプラスを示し操業度を引き上げている。

【卸売業】

今期の売上額は、前期比ではD I 27.1とプラスを示し業績好転しているが、前年同期比ではD I △12.5とマイナスとなっている。

細業種でみると、燃料業は前期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し業績が悪化しているが、逆に食料品業はともにプラスを示して好転している。他の業種は、前期比ではD I がプラスしているが、前年同期比ではマイナスとなっている。

【小売業】

今期の売上額は、前期比D I △9.2、前年同期比D I △27.1といずれもD I がマイナスを示し、業績は悪化ぎみに推移した。

細業種でみると、各種商品販売業は前期比

でD I がプラスを示し業績がやや向上しているが、他はすべてマイナス又はゼロを示しており、特に衣服・身の回り品販売業、食料品業は前期比、前年同期比ともにD I がマイナスとなっており、前期好転をみせた自動車販売業も悪化基調で推移した。

【サービス業】

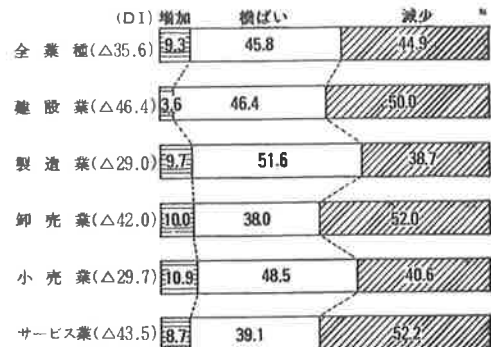
今期の売上額は、前期比D I 15.4、前年同期比D I 0.0と、前期比ではD I がプラスを示し回復の兆しをみせた。

細業種でみると、自動車整備業は前期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し業績が悪化しているが、他は全般的に向上しており、特にクリーニング・理美容業、娯楽業は前期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し、観光シーズンを迎えて旅館業も前期比ではD I がプラスしている。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」している企業18.1%に対し、「横ばい」企業43.1%、「減少」している企業38.8%でD I が△20.7を示しており、前年同期比でも「減少」企業44.9%が、「増加」企業9.3%を上回っており、D I △35.6となっている。

図一 今期の純利益（対前年同期比）



このように純利益は、売り上げ不振が影響して減益傾向が続いている。

業種別にみると、各業種とも悪化傾向にある中で、製造業では金属・一般機械器具業、卸売業では建築材料業、サービス業では娯楽

経済の窓

景気動向調査

(昭和60年度 第1・四半期)

昭和60年度第1・四半期(昭和60年4月～6月)の函館における景気動向調査結果がまとまりましたので概況をお知らせします。

なお、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	395社	281社	71.1%
建設業	50	33	66.0
製造業	100	73	73.0
卸売業	80	62	77.5
小売業	120	81	67.5
サービス業	45	32	71.1

(注) 本調査結果の中でD Iとある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目について増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差し引いた値を示しています。

今期(4月～6月)の実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業26.4%に対し、「横ばい」企業48.9%、「悪化」している企業24.7%で、D Iは1.7と若干プラスを示している。

これを業種別にみると、建設業D I Δ 10.7、小売業D I Δ 13.9と悪化基調で推移したが、他は製造業D I 14.1、卸売業D I 10.0、サービス業D I 8.4といずれもD Iがプラスを示しており、比較的好転した。

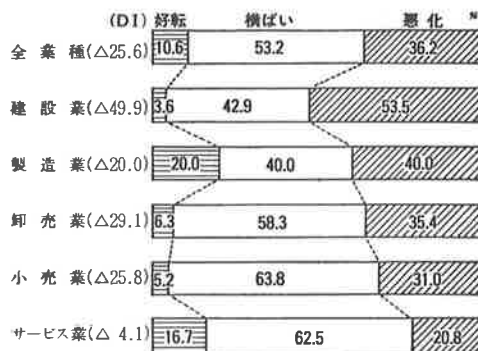
また、今期の業況を前年同期比でみると、全業種では「好転」企業10.6%に対し、「横ばい」企業53.2%、「悪化」企業36.2%で、D Iは Δ 25.6を示しており前年より悪化して

いる。

業種別にみると、すべての業種でD Iがマイナスを示しており、特に建設業(D I Δ 49.9)は、調査対象中過半数の企業が悪化を訴えている。

このように今期の業況は、公共事業の発注額が前年を下回り、個人消費も今一つ盛り上がりを欠いているが、生産活動は比較的順調に推移し、観光関連も季節的にやや上向くなど、まだら模様を描きながらも、全体的には盛業期入りでやや回復の兆しをみせはじめて

図一 今期の業況(対前年同期比)

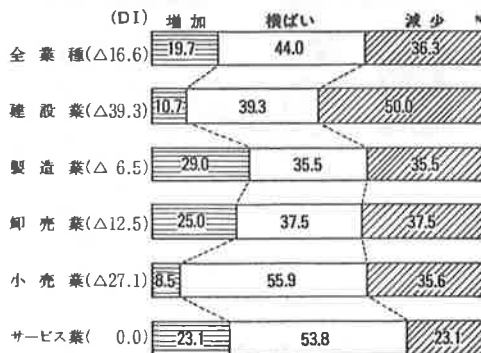


2. 売上額について

今期の売上額の状況を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業32.9%に対し、「横ばい」企業40.7%、「減少」している企業26.4%でD Iが6.5と若干プラスを示しており、冬場を脱したことも影響して業績はやや上向いている。

また、今期の売上額を前年同期比でみると、全業種では「増加」企業19.7%に対し、「横ばい」企業44.0%、「減少」企業36.3%

図二 今期の売上額(対前年同期比)



ヒント

栄

ぴんと

成功事例に学ぶ
儲かる商売・儲かる発想法

限られた条件の中で

ベストをつくす

(3)

4 短いへの対策

●立地条件を克服する方法

山形県余目町商工会の人々は、四十九年に行われたアンケート調査の結果を見て慄然としました。それは、商店街に駐車スペースが無いことに対する不満が四割五分も占めていたからです。このままでは消費人口流出の大きな原因にもなりかねないと考えた商工会役員さんや指導員

さんは、セットバック方式の採用を地元商店に提案しました。つまり店舗をバックさせて道幅を拡げ、駐車スペースとして活用しようというわけです。しかし、補助金もつかずに自主的にバックするわけですから尻込みするお店も出て来ます。

折しも五十一年の大火で、ライバルの酒田の町は完全に焼失してしまいました。ところがひと息つく間もなく、見事に立直った酒田の近代的な店は余目の商店街を、再度脅かしはじめました。そこで町中に危機感がみなぎり、セットバックに賛同する店が次々に出て来るようになりました。現在、余目町商店街は、なかなか立派な町並を形成しています。

余目には「んださけ」—そうだからさ—という方言があります。さけは昔庄内米を仕入れにやって来た堺商人の「そやさかい」という言葉の名残りとか。肉を切らせて骨を切る堺商人のど根性が、東北の地余目に脈々と生きているのを感じる。

しました。地域の商店街はもつと真剣に駐車スペースの確保に取り組みべきではないでしょうか。

一駐車をすぐ傍に持つことの出来ない都会のデパートでは、離れた所にある駐車場にお客様を送迎する専用バスを準備しています。これも、歩く距離を短くするためのひとつの工夫といえましょう。

ところで皆様ご存知の尾道は、地名通り、道幅が狭く、動物の尾のように曲りくねっています。駐車スペースの無い中心街でみやげ物を買ったりすると、自分の車を止めてあるところまでそれを運んでゆくのがひと苦労です。たまたま私が、みやげ物屋の店先で困った顔をしていたら、店員さんが三百円ほど離れた駐車場まで、荷物を一緒に持ってきてくれました。その店員さんのちょっとした配慮のおかげで、不便な町だなどという尾道への私の印象は大分変りました。

商店街でも、駐車場が無い場合は、「申し分けない」という気持をお客様に持つべきでしょう。そうすれば自然にお客様に手をお貸しすることが出来るようになります。これも、立地条件の悪さを克服するひとつの方法といえるのではないでしょうか。

●炭火●炉ばた焼

新鮮な釧路産の魚をはじめ、心をこめた料理の数々。食べて飲んで、しかもお安く
と心と心の通いあえる店!!

■大門本店
函館市松風町4-8
TEL 26-2555

■五稜郭店
函館市本町5-9
TEL 54-2485

